

平成 26 年 4 月 9 日



国土交通省

九州地方整備局宮崎河川国道事務所

## 記者発表資料

### 全国初の埋設護岸（サンドパック工法）工事が完了しました

～養浜と一体となったサンドパックが、自然堤防たる砂丘の侵食を防ぎます～

「宮崎海岸の侵食対策」のうち埋設護岸については、昨年10月に大炊田海岸（場所：宮崎市佐土原町下田島地先）の延長約1,600mの区間において工事に着手し鋭意進捗を図ってきたところですが、予定どおり3月末をもって完了しました。

全国初となった本工事について、報道関係者の皆様に現場を公開し、整備状況等を御説明します。

○日 時：平成26年4月11日（金）9：00～

○場 所：大炊田海岸（宮崎市佐土原町下田島地先）

○内 容：埋設護岸（サンドパック工法）の整備状況

- ・サンドパック設置状況（埋設しているため、視認できるのは一部区間のみ）
- ・砂丘と砂浜が連続する景観（サンドパックと一体となった養浜により創出）

#### 【 参 考 】

「宮崎海岸の侵食対策」とは？

3つの柱からなるプロジェクトです。これまでに失われた宮崎海岸（宮崎港北端～一ツ瀬川河口間）の砂浜を回復・維持するために、①養浜等を実施し、②突堤を整備します。また、砂丘が海岸に面しているため急激な侵食の危険性がある区域（大炊田海岸の一部、住吉海岸の一部）においては、浜崖頂部高の低下を防ぐために、③埋設護岸を整備します。

お問合せ先

国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所

代表：0985-24-8221

技術副所長 竹下 真治（内線204）

海岸課長 真鍋 将一（内線381）

PCホームページ：<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

## 大炊田海岸の埋設護岸(サンドバック工法)工事に関する参考資料

### 【経緯】

- H20.4 宮崎海岸直轄海岸保全施設整備事業として、国土交通省直轄事業に移行
- H23.夏 台風 6 号,12 号,15 号の高波浪により、大炊田海岸の砂丘が最大約 17m 侵食される
- H23.10 宮崎海岸侵食対策事業促進期成同盟会より、大炊田海岸等の緊急保全対策の要望書が提出される
- H23.12 第 10 回宮崎海岸侵食対策検討委員会にて、「宮崎海岸の侵食対策」が了承される
- H24.1 大炊田海岸等で緊急保全対策工事(養浜盛土、袋詰玉石の設置)を実施(3 月まで)
- H24.2 一ツ葉有料道路住吉 IC 東側の海岸にて、サンドバック工法の現地実験が開始される
- H24.3 一般の方々を対象に、サンドバック工法の現地実験現地見学会を開催
- H24.4 低気圧の高波浪により、大炊田海岸の緊急保全対策工事箇所の養浜盛土が流出(5 月にも発生)
- H24.6 台風 3 号,4 号に備えて、大炊田海岸で追加工事(消波ブロック及び袋詰玉石の設置)を実施
- H24.8 台風 15 号の高波浪により、大炊田海岸の砂丘が最大約 5m 侵食される
- H24.9 大炊田海岸等で緊急保全対策工事(養浜盛土、袋詰玉石の設置)を再度実施(3 月まで)
- H25.3 一ツ葉有料道路住吉 IC 東側の海岸にて行っていたサンドバック工法の現地実験を終了
- H25.7 サンドバック工法に関するマニュアルが完成し、「海岸保全における砂袋詰め工の性能評価技術に関する研究」成果報告会が、茨城県つくば市で開催される
- H25.8 第 8 回技術分科会にて、埋設護岸にサンドバック工法を適用することを議論
- H25.9 第 12 回宮崎海岸侵食対策検討委員会にて、埋設護岸にサンドバック工法を適用することを了承
- H25.10 大炊田海岸にて全国初となる埋設護岸(サンドバック工法)工事を開始
- H25.11 サンドバックの 1 体目の設置を開始
- H25.12 一般の方々を対象に、埋設護岸(サンドバック工法)工事の現地見学会を開催
- H26.1 サンドバックの 237 体目の設置を完了、埋設作業を開始
- H26.3 埋設作業が終了し、埋設護岸(サンドバック工法)工事が完了

### 【実工期】

平成 25 年 10 月～平成 26 年 3 月

### 【施工諸元】

埋設護岸の延長 : $L=1,580\text{m}$ (1 区間(20m)あたりサンドバックを 3 体使用×79 区間=237 体)

養浜の施工量<sup>※1</sup> : $V=95,106\text{m}^3$ (施工延長 1m あたり  $60\text{m}^3$ (ダンプトラック約 11 台分に相当))

※1 外部(大淀川水系、一ツ瀬川水系、サンビーチ一ツ葉の掘削土)から大炊田海岸に持ち込んだ土砂の量の合計。うち一部はサンドバックの中詰材としても使用している。

### 【総工費】

約 1,205 百万円<sup>※2</sup>

※2 養浜を含む。従来のコンクリート護岸と比較して約 2～3 割の初期費用縮減。



工事開始前  
(平成25年5月31日撮影)



工事開始直後  
(平成25年10月19日撮影)



サンドパック設置工事  
(平成25年11月28日撮影)



埋設作業完了(工事完了)  
(平成26年4月7日撮影)